

JAIPA

Express

Vol.49

October 2018

CONTENTS

ご挨拶

レポート

・ 沖縄ICTフォーラム2018in名護

・ JAIPA Cloud Conference 2018

事務局通信

会員紹介

行事一覧

役員一覧

会員一覧

全国プロバイダー一覧

People, people

皆さまこんにちは。ビッグローブの久保でございます。

ビッグローブはその前身であるパソコン通信のPC-VANから数えると30年、ISPを開始してから20年が経過しています。最近では当時のナローバンドでの通信環境を新入社員に説明してもキョトンとした顔をされてしまい、今さらながら時代の変遷を感じております。

ISPについては、開始した当初は色々大変でしたが、この業態はこんなに長く続かず、どこかで構造変化が起こるのだろーと思っていました。従いISPをやっている間に次の事業を考えねばならないと、自身でも映像コンテンツの製作やベンチャーキャピタルを通じた新規事業などに取り組んだりして来ました。20年前のナローバンド時代のPCでアーティストのライブ配信にチャレンジするもの誰も視聴サイトにたどりつけないとか、3Dアバターを使ったチャットサービスをリリースした途端、皆フリーズして誰も会話できないとかたくさん失敗もしました。

事業の母体であったNECではインターネット以前に『C&C』という、通信とコンピュータの融合により未来の『いつでも・どこでも・誰とでも』を支えるという企業ビジョンを掲げていました。それは将来の夢、いつか実現したいと願っていたものですが、今日AIによる自動翻訳をはじめ、実用となり普及し始めています。近年では当社自体も経営体制の変更など、環境変化に直面しながら今日に至っていますが、現在でもISPは当社事業においても未だ大きな位置づけを構成しております。こうして改めて振り返ると大変感慨深いものがあります。

そうした一方で、先日、付き合いのある気鋭のベンチャー経営者と話をしていた際、彼らが提供しているスマホアプリの通信速度の話になり、私が説明はするものの質問を繰り返された挙句、「ではISPって何やってるんですか？」と真顔で質問されました。そんなものかも知れません。お客さまはインターネットを利用するにはISPとの契約が必要と理解していても、ISPがやっていることは良く分からない。定額料金払えば固定回線は使い放題が当たり前、くらいでしょうか。

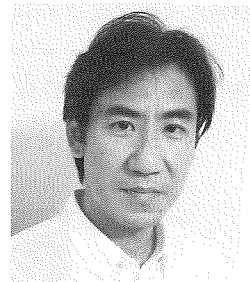
しかし利用者は一旦便利なものに触れるとすぐにそれは「当たり前」になります。検索して情報を得るというのは過去には革新的な体験でしたが、それに慣れてしまうと検索結果の不一致に不満を持ってしまいます。つい先日でも知人の子どもがAIスピーカーを体験している場にいたのですが、最初は便利だね〜と楽しそうにやり取りしていたのですが、段々要求がエスカレートして来て、しまいには子どもとAIが「何でそんな事も分からないの!」「……申し訳ございません。」という会話をしておりました(笑)。

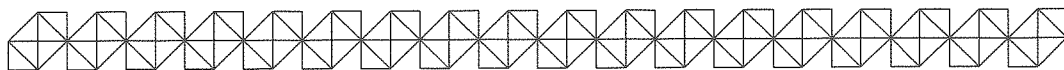
通信サービスも自宅でWiFiでスマホの動画を見るのが当たり前になるとお客さまの期待はどんどん高画質に向かいます。しかし、一旦快適に利用できていた通信環境が不便になると、お客さまの満足は当然のごとく低下します。画質が劣化するの是不満、料金が高くなるのにも不満です。かと言ってISPがお客さまの期待に応え続けるためのコストがどんどん膨らんでしまうと、ネットワークの収益性が担保できず、いずれ事業が成り立たなくなってしまいます。我々はこうした危機感を共有し、解決に向け取り組んで行く必要があります。

私も昨年にJAIPAの常任理事を拝命し約1年半が経ちました。現在当協会は通信品質やコストの問題以外にも中立性に関するルール策定、消費者保護への対応、サイトブロッキング問題等、様々な課題に直面しております。個々には事業者としての利害やスタンスが異なる課題もあるかと思いますが、将来の事業環境変化を共有しながら対処して行くことが重要と思います。

JAIPAには旭日双光章を受賞された渡辺名誉会長はじめ、これまでたくさんの方々が築き上げて来られた自由闊達なコミュニケーション、気心知れたネットワーキング等、他の団体にはない良さがあると思います。ぜひそうした良さを発揮し、皆さんと連携しながら、一つひとつ課題に取り組んで行きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
常任理事 久保 真
(ビッグローブ株式会社)





沖縄ICTフォーラム2018in名護 開催報告書

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2018/07/ict2018in.php>

日時：2018年7月5日（木）～6日（金）

※7月4日（水）16:00～

「せきらら会」（完全招待制懇談会）

場所：名護市民会館 中ホール

〒905-0014 沖縄県名護市港2丁目1番1号

主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

共催：インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会

参加費：無料

参加者：175名

（4日（水）53名、5日（木）134名、6日（金）150名）

■7月4日（水）

1. CISOセキララネタ

【概要】

昨今のサイバー攻撃対策や内部情報漏えいの脅威は留まるところを知りません。しかし民間企業における対策情報の共有には課題があります。あの企業のセキュリティ対策はどうなっているのか知りたくありませんか？そこで、各業界を代表する経営者やCISOにお集まりいただき、今後の企業経営とサイバーセキュリティ対策について、セキララ議論を展開します。

2. 偽装免許証ネタなどabuse対策

【概要】

招待制プログラムの定番、サイバー犯罪の実態説明講座です。ISPのabuse担当者が対応している「偽造免許証対策」などサイバー犯罪の実態を共有し、ISPが行うべき対策や警察等との連携についてセキララ議論を展開します。

3. ブロッキングネタ

【概要】

世間を騒がせた「海賊版サイトのブロッキング」問題について、7/5（木）のセミナーに先行して、公開セッションでは共有できない裏側の真実をお話しします。

■7月5日（木）

10:00～14:50（12時前後から1時間ほど昼食休憩）

世間を騒がせた「海賊版サイトブロッキング」の現状報告と法的整理等

英知法律事務所 森 亮二弁護士

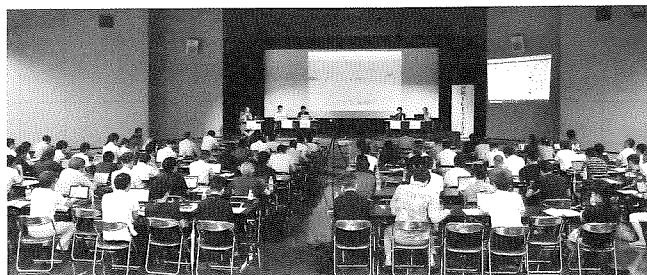
山崎法律事務所 長瀬貴志弁護士

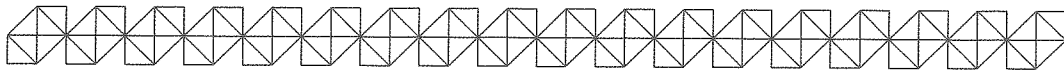
株式会社ITリサーチ・アート 高橋郁夫弁護士

JAIPA副会長 立石聡明氏

MIAU 中川 謙氏

1. これまでの経緯
2. 犯罪対策閣僚会議の「インターネット上の海賊版サイトに対する緊急対策」検証
3. 今更ながら「通信の秘密」について再度考えるー森 亮二氏
 - ・緊急避難の要件は
 - ・その時社員はどうする（べき）？
4. 諸外国における状況ー高橋郁夫氏
5. 「ブロッキング」の問題点とは何なのかー長瀬貴志氏
6. ブロッキングの技術について
 - ・DNSブロックは有効なのか？
 - ・URLブロックは
 - ・IPブロックって…
7. ネットワークの中立性に関する問題その他について
 - ・日本ほど中立性に関する法律が昔からあった国は少ないBy Dr. Layton
 - ・海外では「通信の秘密」が規定されている国は少ないため、ブロッキングは中立性の問題と考えられることが多い
8. 今後
 - ・知財本部タスクフォースについて
9. パネルディスカッション
 - ・オープンマイクrofオンで会場からの質疑等を中心に





14:50~15:00 休憩

15:00~16:25 「JAIPA歴代女性部会長が語る
～あれから11年、女性の働く環境・意識・
ICTの役割はどう変わったか」

パネリスト：

インフィニオン テクノロジーズジャパン(株)

佐々木洋子氏

NTTコミュニケーションズ(株) 大川裕子氏

富士通クラウドテクノロジーズ(株) 栗林真由美氏

モデレータ：

NTTコミュニケーションズ(株) 小林洋子氏

16:25~16:35 休憩

16:35~18:00 利用事業者からみたクラウド

・楽天株式会社 (45)

スピーカー：Ian Chen氏

(Vice Manager: Global Point Group)

サポート：Yosuke Akizuki氏

(Manager: Payment Cloud Group)

※逐次通訳付きでご講演いただきます。

・「コンテンツ事業者からみたクラウド利用 DMM.com
編」(40)

合同会社DMM.com 村田篤紀氏

19:00~

懇親会

ホテルゆがふいんおきなわ あけみおの間



■7月6日(金)

9:30

受付開始

10:00~11:00 基調講演：総務省のサイバーセキュリティ
政策について

総務省 政策統括官(情報セキュリティ担当)

谷脇康彦氏

11:00~11:30 電気通信事業法改正+NICT法の詳細解説！

総務省サイバーセキュリティ課主査 青木晋介氏

11:30~12:00 事業法改正とISPの取り組みについて(資
料あり)

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)

セキュリティ本部長 齋藤 衛氏

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~13:50 「復帰前の沖縄で暗躍していた米軍情報機
関CICの実態に迫る」

琉球新報社 島袋貞治氏

*日本で唯一地上戦が行われた沖縄。実の兄弟が米軍、
日本軍に別れて戦った悲惨な戦争。戦後琉球政府と
なってからも様々な戦争の影響が色濃く残った。

戦後70年という時が流れなければ出てこない事実
の一つを、実際に取材した記者の島袋さんに講演し
て頂く。

13:50~14:30 ブロッキング取りまとめ

JAIPA 立石聡明氏

琉球新報社 島袋貞治氏

14:30~14:40 休憩

14:40~15:30 働き方改革×セキュリティ対策

～働き方改革のためにシンククライアント
を辞める理由とは～

NTTコミュニケーションズ(株) 情報セキュリティ部長

小山 覚氏

15:30~16:20 サイバー社会の現実とISMS的対策の限界

(株)ベネッセインフォシエル 代表取締役社長

丸山司郎氏

16:20~16:30 休憩

16:30~18:00 ISPの再編の波を受けどう思う？(仮)

パネリスト：

NTTコミュニケーションズ株式会社 福島博之氏

株式会社NTTPCコミュニケーションズ 北村和広氏

ニフティ株式会社 前島一就氏

BBIX株式会社 福智道一氏

モデレータ：

BizMobile株式会社 小畑至弘氏

19:00~

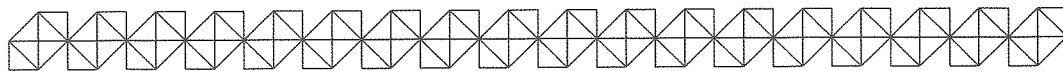
懇親会

ホテルリゾネックス名護 ドルフィン

*会場からバスで送迎します。

概要：

今回で12回目を迎えた沖縄ICTフォーラムは、ついに6年
間の離島開催から本島に戻り「名護」になりました。これに
はプログラム委員の涙ぐましい努力がありました。今回ほど
開催地選定に時間を取られたことは無く(次回かも)、最
後はプログラム委員長の一声でやっと決まったのです。それ
によって参加募集開始も遅くなり、離島開催ではなく、さら
に那覇空港から時間がかかる上に移動手段は路線バスかレン
タカーを調達する必要があるとのこと。いままでの参加人数
は大幅に下回るといきや、終わってみたら175名ものの方々
にご参加いただきました。参加いただいた皆様、ありがとう

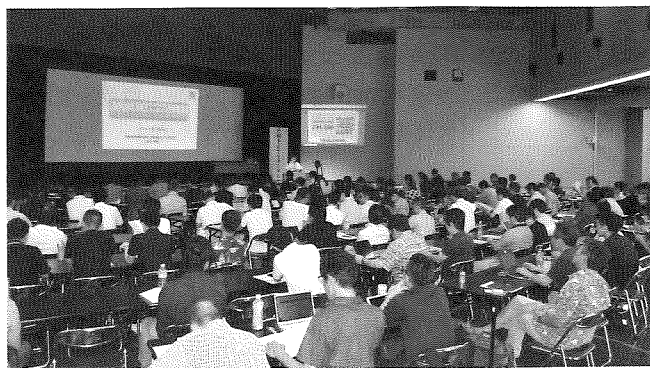


ございました。プログラム委員一同心より御礼申し上げます。
 そういえば、お天気もはっきりせず、途中すごい雨で飛行機での到着が遅れた方が何人もいらっしゃいましたね。

さて、ここ数年恒例となった「招待制プログラム」はいつにも増して参加者が多く資料配付無し、写真・ビデオ撮影禁止、そして「ここだけの話」として開催。講師の方々のご講演についてはあらゆるところに工夫があり、講師と会場参加者の活発な意見交換で大いに盛り上がりました。

実質初日の7月5日は小林洋子プログラム委員長の開会挨拶で開始しました。毎年開会挨拶を報告書に記載したいと思いつつ、バタバタして断念したのですが今回やっと記載できます。いつも良いこと言うなあ~と思ったのでした。

「人は判断を間違う。国や会社のトップなど責任ある立場の人でも間違ふことがある。だからそれを水際で食い止めるのが我々の役目である。自由を守るために、自立・分散・協調型の組織を作り上げそれを支える、業界の一人一人が自覚を持ってやる。そして、日頃から自分の考えをまとめて、いつ誰に聞かれても、自分の言葉で話せるように準備しておく。他社はこうですよ、弁護士の見解はこう、総務省は…等、広い視点からさまざまな考え方を一人一人が語れるようにしておくことが大切である。そのための恰好の機会がこの沖縄ICTフォーラムである。非日常空間の沖縄ICTフォーラムではさまざまな人たちの本音トークが炸裂する。2007年から12回目を迎えるがその「ここだけの話」が外に漏れたり、SNSで書かれて問題になったことは一度も無い。今日も明日も本音トークが出てくると思う。同じ悩みを抱えている人たちが組織を越えて語り合える場にしたい。もう一つ、なぜ沖縄でやるのかと言うことだが、一つはこの非日常空間だから本音トークが出るということ。もう一つは「間違えた判断」の最たるものが戦争だったこと。先の戦争で唯一本土決戦をして、県民の四分の一が亡くなったのが沖縄。今では、それさえも忘れられ、知らない人が増えてきている。現地にきて、現地の人話を聞いて、知識だけで無く肌感覚として皆さんに知って貰いたい。基地の問題も、現地の人とテレビで見ている我々とは温度感が違う。沖縄の犠牲の上に我々の安全保障が成り立っているという事実を発信力の高い皆さんに広めてもらいたい。そして自分に何が出来るのかも。まずはこの機会に沖縄で観光、飲食、お土産などにお金を使い次回家族でまた沖縄に来ると言う経済貢献はすぐにできること。今日から二日間、本音トーク炸裂の、建設的で前向きな議論の実りある会にしましょう！では、開会します！」

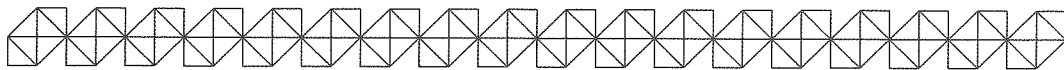


ここ数年、毎年150名以上とたくさんの方々に参加していただいているものの、まだまだ何故沖縄でやるのか、意味がわからないと言う方もいらっしゃるの、今回も挨拶に入らせていただきました。開会挨拶と会場注意事項（ゴミ捨て場所が無いなんてすみません。自販機でペットボトル売っているのにね。）を経て、ファーストセッション。4月頃から問題になっている「海賊版サイトブロッキング」について、10:00~14:50までと長時間にわたり開催しました。皆様もご存じの通り、内閣府 知的財産戦略推進事務局による「インターネット上の海賊版対策に関する検討会議」が2018年6月22日から始まり、本フォーラムまで2回開催されています。今後も1ヶ月に2回と短いスパンでの会議開催をして、8月末日までには取りまとめを行う事になっているとのこと。会議開催はこちらのサイトをご覧ください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/index.html>

（この会報が発行される時には、すでに取りまとめをされているかもしれません。）

現時点、日本では児童ポルノサイトのみブロッキング対応をしています。児童ポルノサイトブロッキングを行う際は通信の秘密、知る権利、表現の自由等、法的な面を含め様々な課題をつぶしながら長時間かけてブロッキングを行うようになりました。あれからすでに7年経ちましたが児童ポルノサイトブロッキング限り（やむを得ないこと）と考えられていたことが、急に著作権を盾にこのような話が上がって4月以降様々な意見交換がされています。このセッションでは、長瀬弁護士、森弁護士、高橋弁護士の3名と急遽MIAUの中川氏にお声がけしてパネルディスカッションが実現しました。児童ポルノ対策からだいぶ経っているので、法的な面からなぜ対応する事になったのかを長瀬弁護士、森弁護士とともに振り返り、海賊版サイトブロッキングについては、4月からここまでの経緯や犯罪対策閣僚会議の内容、そしてブロッキングありきの主張をしている方々の主張などを取り上げ、意



見交換をしました。で、これからどう対応していくのか！と言うところですが、法制面やブロッキングと言う行為をISPがするということはどういうことなのか等、丁寧に説いていかないと感情で動いているであろう方々には受け入れられないだろう。ブロッキングという行為は絶対反対！の姿勢で臨んでいくのですが、後に、丁寧に説いても、ブロッキングありきで話している人には、「聞く耳持たず」と言うことなのだ実感している今日この頃。

休憩を挟んで、歴代の女性部会長が語る～あれから11年、女性の働く環境・意識・ICTの役割はどう変わったか～として、パネルディスカッションが行われました。会社のトップクラスに就任している人、転職して充実した仕事についた人、出産して二人のお子さんがいて（今育休中）、さらにステップアップして内外とも活動している人、多趣味で活動的な人、歴代の女性部会長の現状とここに至るまでのご苦労、環境の変化などをお話いただきました。ご苦労と書きましたが、「苦労・嫌な事等たぶん、あったと思うんですが、忘れました」的は発言もされていて、先に進んでいく課程で苦労という言い方はしないところが立派な方々です。さらにこれから追いかけてくる人たちに開けた道筋を付けてくれるそんな女性達です。その後、利用者から見たクラウドとして、楽天のIan Chen氏、DMM.comの村田氏にご講演いただきました。

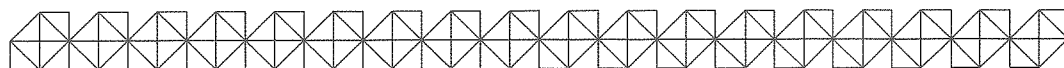
7月6日は、「総務省のサイバーセキュリティ政策について」として総務省 政策統括官（情報セキュリティ担当）谷脇康彦氏にご講演いただきました。昨日の夕方のセミナー、懇親会と参加いただき、本日この講演が終わったら、即お帰りになるというハードスケジュールの中、ありがとうございました。過去数回このフォーラムで講演していただいております。たまには、のんびり出来ないんですかねえ、現在は総務省 総合通信基盤局長になりました。続いて、総務省サーバーセキュリティ課主査青木さんに電気通信事業法改正とNICT法の詳細を解説、事業法改正とISPの取組についてとして、IIJの齋藤さんにも一連の流れをご説明いただきました。昼食を挟んで、琉球新報社 島袋貞治氏に「復帰前の沖縄で暗躍していた米軍情報機関CICの実態に迫る」として小林洋子委員長の挨拶でもありましたが、日本で唯一地上戦が行われた沖縄。戦後70年という時を経て、実の兄弟が米軍、日本軍に別れて戦った悲惨な戦争。戦後琉球政府となつてからも様々な戦争の影響が色濃く残った。そんな事実の一つを、実際に取材した記者の島袋さんに講演していただき

ました。

その後は、働き方改革×セキュリティ対策～働き方改革のためにシンクライアントを辞める理由とは～として、NTTコミュニケーションズ(株) 情報セキュリティ部長 小山 覚 氏の絶妙な語りの講演、サイバー社会の現実とISMS的対策の限界として(株)ベネッセインフォシエル 代表取締役社長 丸山司郎氏のご講演。最後のセッションは、ちょっと重い「ISPの再編の波を受けどう思う？」というタイトルでパネリスト：NTTコミュニケーションズ株式会社 福島博之氏、株式会社NTTPCコミュニケーションズ 北村和広氏、ニフティ株式会社 前島一就氏、BBIX株式会社 福智道一氏をお迎えして、BizMobile株式会社 小畑至弘氏がモデレータで今後、ISPはどこに向かっていくのでしょうか？という、会場を交えてのディスカッションをしました。今回はアルコールをご用意できず申し訳ございません。次回は必ず。

先に書きましたが、悪天候の中175名とたくさんの方々においでいただき本当に感謝申し上げます。当協会のセミナー、イベントについては、プログラム委員はもちろんですが、参加して下さった方々がいてこそです！いつもご協力ありがとうございます。引き続きなにとぞよろしくお願いいたします。(M)





JAIPA Cloud Conference 2018 開催レポート

JAIPA Cloud Conference 2018 実行委員長

吉村真輝

2018年7月25日（水）に、クラウド部会主催にて毎年恒例となっている「JAIPA Cloud Conference 2018」（以下、クラコン）を開催し、盛況のうちに終了いたしました。

クラコンの開催は今回で6回目となりましたが、回数を重ねるに毎にイベント運営が向上され、JAIPA会員に限らず、JAIPA非会員の方々にお越しいただいても大変ご満足いただけるイベントとなりました。（来場者アンケートでは99%の方が満足とご回答いただきました！）

本稿では簡単にはございますが、イベント当日の様子やイベント準備の裏側をレポートいたします。



JAIPA Cloud Conference 2018 実行委員（皆さんお疲れ様でした！）

イベント概要

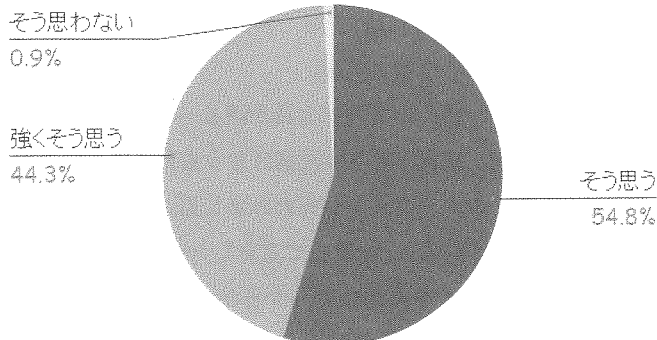
名称	JAIPA Cloud Conference 2018
URL	https://cloudconference.jaipa.or.jp/
日時	2018年7月25日（水） 9：20～20：40
会場	品川グランドホール
主催	一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会 クラウド部会
後援	総務省、経済産業省、関連団体
参加費	無料（要事前申し込み）

開催結果報告

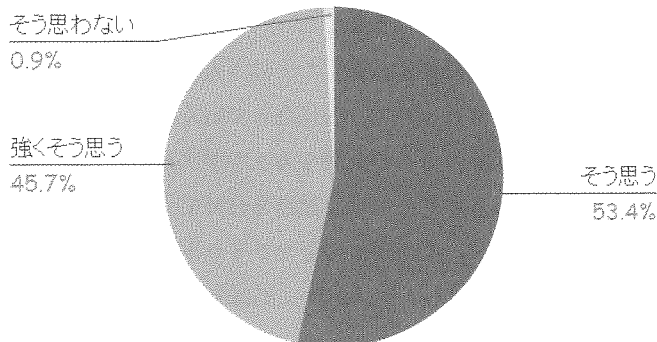
事前申込登録者	727名
来場者	488名
懇親会参加者	143名
天気	晴天（気温32/26）
スポンサー	40社
後援団体	20団体
メディアスポンサー	10媒体
会場ブース出展	7社

来場者アンケート

アンケート1: 参加して有意義であったか



アンケート2: 来年度も参加したい



当日は過去最多の来場者を記録し、アンケート結果も大変ご満足いただけるものになりました。

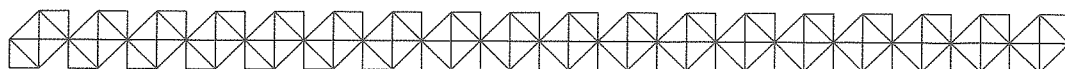
プログラムレポート

クラウド部会副会長であるさくらインターネット田中社長の開会挨拶から始まったイベントは、午前中の総務省セッション、経済産業省セッションの時点で既に会場のほとんどの席が埋まる勢いであった。頻繁にメモを取る人の姿や聴衆の真剣な表情から、会場の雰囲気は真剣そのものであった。その後の山本氏のAIセッションでは表現力豊かなプレゼンテーションが繰り広げられ、空気が変わったところで午前のプログラムが終了した。

午後は、唯一のスポンサーセッションであるEMCジャパンの笠原氏から始まり、クラウド部会副会長であるクラコンオンライン家本社長からJAIPA会員への入会を勧めるJAIPAの紹介があった。

ブロックチェーンセッション、セキュリティセッションといった専門性の高い話題を挟んで、JAIPAの各種イベントで頻繁にご登場いただいている上沼弁護士による民法改正が及ぼすクラウド事業者への影響を学ぶことが出来た。

クロステックというキーワードが浸透している昨今、デンソーの成迫氏によって自動車産業におけるクラウドサービス



レポート

プログラム (詳細はこちら <https://cloudconference.jaipa.or.jp/timetable/>)

09:20	開場
09:55-10:00	開会挨拶 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会 クラウド部会 副部会長 さくらインターネット株式会社 代表取締役 田中 邦裕
10:00-10:40	セッション1:総務省セッション 「総務省における技術政策」 総務省国際戦略局技術政策課 統括補佐 杵浦 維勝 氏
10:40-11:20	セッション2:経済産業省セッション 「デジタルトランスフォーメーションに向けて」 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 統括補佐 守谷 学 氏
11:40-12:20	セッション3:AIセッション 「人工知能はどのようにして名人を超えたのか、そして我々の未来はどうなるのか」 愛知学院大学 特任准教授 HEROZ株式会社 リードエンジニア 山本 一成 氏
12:40-13:20	スポンサーランチセッション 「Dell TechnologiesのEdge-Core-Cloudに対する取り組み」 EMCジャパン株式会社 執行役員 サービスプロバイダ営業統括本部長 笠原 直也 氏
13:35-13:40	JAIPAのご紹介 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会 クラウド部会 副部会長 株式会社クララオンライン 代表取締役社長 家本 賢太郎
13:40-14:20	セッション4:ブロックチェーンセッション 「ブロックチェーンの社会実装における課題と対策」 カレンシーポート株式会社 代表取締役 CEO、 ブロックチェーン推進協会 副代表理事、日本ブロックチェーン協会 理事 杉井 靖典 氏
14:20-15:00	セッション5:セキュリティセッション 「サイバーセキュリティの現状と対策へのアプローチ」 株式会社ラック 代表取締役社長 西本 逸郎 氏
15:20-16:00	セッション6:法律セッション 「改正民法とクラウドサービス」 虎ノ門南法律事務所 弁護士 上沼 紫野 氏
16:00-16:40	セッション7:MaaSセッション 「クラウドとアジャイル開発で創る未来のモビリティサービス」 株式会社デンソー MaaS開発部 部長 兼デジタルイノベーション室 室長 成迫 剛志 氏
17:00-18:20	経営者パネルディスカッション 「成長するビジネスを支える制度、働き方、テクノロジー」 【モデレーター】 株式会社角川アスキー総合研究所 アスキー編集部 大谷 イビサ 氏 【パネリスト】 さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中 邦裕 氏 株式会社サーバーワークス 代表取締役社長 大石 良 氏 株式会社ソニックガーデン 代表取締役社長 倉貫 義人 氏
18:20-18:25	閉会挨拶 JAIPA Cloud Conference 2018 実行委員長 株式会社クララオンライン 吉村 真輝
18:40-20:40	懇親会 仮想通貨少女 特別LIVE

利用のついでの話があり、今後も業界を超えた繋がりを考えていく機会となった。

毎年恒例であるイベントのメとして経営者パネルディスカッションを行った。モデレーターは様々な企業の内部取材してきたアスキー編集部の大谷イビサ氏が務め、先進的な働き方改革を実践している経営者からその制度や考え方を引き出し、その場にいる人にとっては他社の組織論や自社との比較を考えさせられるコンテンツとなった。

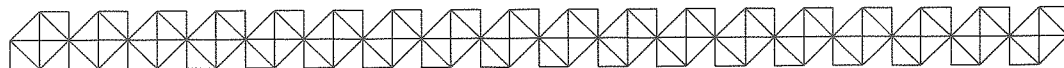
2018年の特徴

●プログラム

例年からプログラム構成に大きな変更はありませんでした。アンケート結果では、AIセッション、MaaSセッションが大きな関心を集めていました。

●会場の変更

過去4回利用していた会場（品川コクヨホール）の終了に伴い、心機一転、新しい会場（品川グランドホール）に変更いたしました。会場を変更したことで結果的に、プログラムの演出だけでなく、スポンサーのブース出展や懇親会などの



面で良い影響をもたらしました。

●スポンサープランの見直し

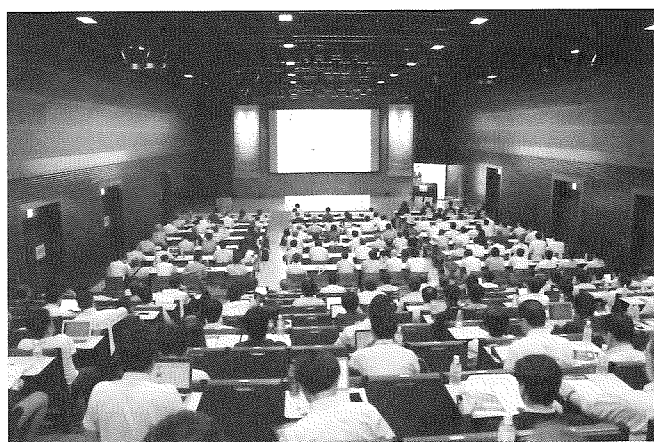
ゴールドスポンサー特典として、本会場スクリーンにてスポンサー広告動画の配信を行いました。スポンサーにとっては露出が増え、来場者にとっては休憩中에서도退屈をさせない良い取り組みとなりました。

●仮想通貨少女ライブ

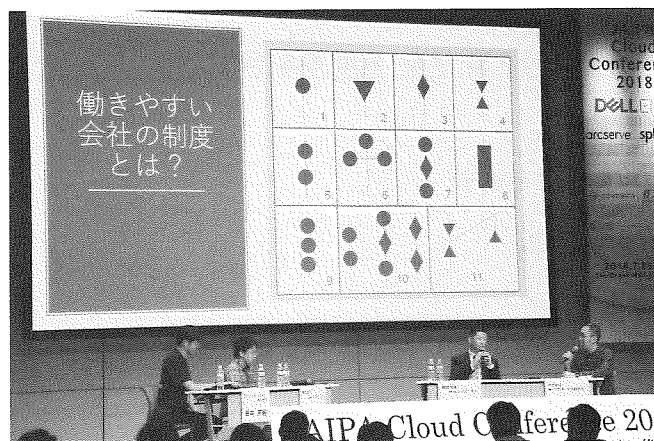
新たな取り組みとしてアイドルグループ「仮想通貨少女」によるライブを、イベント終了後の懇親会にて行いました。現場で目撃をした人々からは、驚きと笑いと感動(?)の声があがっていました。



会場の様子 (懇親会)



会場の様子 (AIセッション)



会場の様子 (経営者パネルディスカッション)



会場の様子 (仮想通貨少女ライブ)

クラコン2018実行委員会

クラコンはクラウド関連事業者やユーザーに対して、新しいビジネスや各社の経営計画のヒントとなるコンテンツを届けることがコンセプトになっています。一方、主催のクラウド部会で掲げているもう1つのコンセプトとして「若手の起用」があります。そのため、実行委員会メンバーはJAIPA会員企業の若手から構成されており、同業の同世代が繋がり刺激を与え合う場となっています。

2017年12月からスタートした実行委員会メンバーは半年以上の間、業務の合間合間にイベントの準備をしてくれました。実行委員メンバーとそしてメンバーを選出していただいた企業の皆様には、この場を借りて心より御礼申し上げます。

来年も実行委員をやってくれることを期待しています。(笑)

2018開催までのスケジュール

	2017 12月	2018 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実行委員会	★	★	★	★	★	★	★	★	★
Web			ディザイアサイト公開		2018サイト公開				
スポンサー									
広報									
プログラム									

次回2019開催について

クラウド部会では現在 JAIPA Cloud Conference 2019 の開催について、企画の検討しております。今年をさらに超えるようなコンテンツをお届けできるように、来年も皆様のご支援、ご協力を是非ともよろしくお願いいたします。実行委員メンバーについては準備が整いましたら募集のご案内をさせていただきます。

開催時期：2019年9月12日 (予定)

会場：品川グランドホール (予定)

テーマ：新技術で変革するビジネス (仮)

実行委員募集開始時期：2018年11月頃 (予定)

スポンサー募集開始時期：2019年1月開始 (仮)

以上



インターネット時代を実感したお話

インターネットは生活のインフラになりました。そういわれてどのくらい経ったのでしょうか？

インターネットが無かった頃の話は昔話となりました。

この原稿を書き始めたのが2018年8月21日

甲子園ではまもなく大阪桐蔭対金足農業の決勝戦が始まります。

第100回記念大会の決勝戦にふさわしい試合になってくれればと……。

「インターネット時代」を切実に実感したのは2004年頃だったと記憶しています。

我が草野球の師、イトヒロさんが病魔に冒された時です。

試合中、なんか最近ボールが見にくいんだよな～、老眼かな～

それが次第にきつくなり、病院へ。

眼科、神経内科、脳外科など色々廻っても原因が分からなかったのですが、脳神経内科で脳幹グリオーマだと診断されました。

入院、検査、退院、入院、検査……そんな繰り返しの中でも次第に視力が悪くなり、身体も動きがおかしくなっていく。

大好きな草野球の見学だけは欠かさずに、車椅子になってもグラウンドに来て草野球を楽しんでいました。

そんなイトヒロさんをなんとか助けようと2005/08/25『イトヒロの命を守る会』が発足しました

http://yanaken.cocolog-nifty.com/sideline/2005/08/post_18c5.html

インターネットを使って様々な支援を求めることが出来ました。

友人の医師に相談し、脳神経外科の的場愛子先生を紹介して貰い、イトヒロさんのスキャン画像を転送し、診断をしてもらう事も出来ました。

イトヒロさんの周辺からも、インターネット経由で様々な情報や、病院の紹介をして貰いました。同窓生や友人はもちろん、草野球の対戦相手からも色々教えて貰いました。また病床で長きにわたり生活するイトヒロさんのためにと、色々な救いの手がさしのべられてきました。インターネットで連絡を行い、インターネットで上方が拡散し、そして援助が行われました。

しかしイトヒロさんの脳幹グリオーマは、その腫瘍の位置

が、最先端の摘出手術が不可能な場所だと言う残酷なことも、インターネット経由で知らされました。

イトヒロさんの支援は様々な形で行われました。

イトヒロさんの名著「草野球超非公式マニュアル」

http://www.web-japan.to/book/review_kusayakyu.htm

版元さんが在庫分の売上げを全額寄付すると協力してくれて、この書籍をインターネットで呼びかけ購入をして貰いました。

病院をいくつか変わり、少し良くなったり、また悪くなったり。イトヒロさんはそんな中でも草野球の本を書き続けました。

「父ちゃんは草野球選手」当時小学生だった息子 ナオトを主人公にした草野球小説を2005年に出版。視力低下が進行しているなか、クレヨンで描いたイトヒロさんのイラストは、それまでの精密なイラストとは違い、暖かな味のあるイラストで、好きでした。

<http://www.onbook.jp/bookd.html?bid=0024>

インターネットのアーカイブには今でもイトヒロさんご自身や友人の思いが残っています。

「野球な人々」は年間100試合以上草野球をやってきたイトヒロさんが見聞きした、同じ草野球仲間のエピソードを書いた2007年に出版された本です。

<http://www.onbook.jp/bookd.html?bid=0049>

著者（イトヒロ）からのメッセージ

「草野球よ永遠なれ！」

私は今、病院のベッドにいます。これまで年間平均七〇試合、二十七年間で約二千の草野球の試合に出場してきました。しかし、二〇〇四年に突然脳腫瘍を患ってから、約二年間入院生活を余儀なくされています。

ベッドに横たわりながら見る夢は、草野球のことばかり。それもプレーというより、対戦相手やチームメイトのことでした。草野球とは、とりもなおさず人間ドラマであることを思い知らされたのです。

草野球という実に人間くさいスポーツを通して、たくさんの人達と知り合いになれたことを幸せに思うのです。そして、このことを記録しておかなければと思いました。

2007年5月4日（金） 橘川幸夫の日記

◇事務所でオンブツの新刊、イトヒロの「草野球な人々」を、あらためて読む。イトヒロの傑作だと思う。彼は、二年前に脳腫瘍で倒れて入院生活を送っているが、この本を読むと、ユニホーム姿のイトヒロの姿が浮かんで来て、たまらない。早稲田マン研の大先輩である東海林さだおさんが文章を寄せてくれているが、ものすごく上品で心のある文章だ。表紙は、「ポンプ」の時代に女子高生でイラストを投稿してくれていた岡林みかんちゃんが引き受けてくれた。みかんは週刊文春などで活躍している売れっ子イラストレーターだ。イトヒロと関係のある人はぜひ読んでください。面識のない人も、ぜひ。仕事（金儲け）以外のところで情熱を燃やすということが、どれだけ美しい人生か分かりますよ。

最後まで病床でグローブと軟式ボールを手放さなかったイトヒロさんは、2008年11月10日午前1時、北区の滝野川病院にて永眠されました。

イトヒロさんの追悼文もインターネットにアップされ、今でもその一部は読むことが出来ます。

蔵前仁一氏

http://d.hatena.ne.jp/kuramae_jinichi/20081114/1226644907

イトヒロさんが通っていた祖師ヶ谷大蔵のスポーツショップゴーランド、後藤さんの文章。

2014年12月12日

（前略）そんな仲間の中に、年間150試合はこなす（もっとやってたかも）猛者の草野球人イトヒロ氏と知り合った。脅威の試合数だけでなく、素人目線から草野球を愛し探求する姿は、先陣を切っているようだった。そんな友人のイラストレーターイトヒロ氏が草野球人による草野球人の為の著書が「草野球超非公式マニュアル」18年前に書かれたこの本の流れを元に現在の草野球事情を私なりに紹介し、そしてこれから草野球に参加したい！立ち上げたい！とお考えの方達の指南書的作用となれたら幸いです……。

<http://hikousiki.blogspot.com/2014/>

インターネットはそれこそ功罪入り交じる世界を作り上げました。その世界の中でイトヒロさんは今でも存在しています。いまでも草野球をやる人達のために、イトヒロさんはインターネットの世界に存在しています。そう思っています。

合掌。

イトヒロさんの連載アーカイブ

イトヒロの東京不自然図鑑

<http://www.eco-tour.jp/special/0701/itohiro/itohiro-10.html>

イトヒロこと伊藤博幸

本名・伊藤博幸。昭和29年12月生まれ、宮城県出身。

学生時代は早稲田大学漫画研究会（早大漫研）に所属、昭和51年度の幹事長（リーダー）。

卒業後はフリーのイラストレーター、ルポライターとして活動開始、今日に至る。

雑誌掲載イラスト、エッセイ等多数。大の草野球通。

【意見書提出】

■「東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見募集の結果及び再意見募集（平成30年度の接続料の新設及び改定等）」に関する意見書を提出（2018/5/1）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_20180501.pdf

■「東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見募集の結果及び再意見募集（平成30年度の接続料の新設及び改定等）」に関する意見書を提出（2018/8/31）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_20180831.pdf

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

このたび、日本インターネットプロバイダー協会に新規入会いたしました、富士通クラウドテクノロジーズ株式会社と申します。

当社は、仮想化ソフトウェア「VMware」を基盤とするパブリッククラウドサービス「ニフクラ」を自社開発し、法人のお客様向けに提供しております。会社としては1986年創立ですが、2017年に分社して社名を変更し、富士通クラウドテクノロジーズとして新しくスタートしました。

2010年に開始した「ニフクラ」は、おかげさまで導入件数6,500件（2018年3月末時点）を突破し、大規模オンラインゲームから企業の基幹システムまで、多様な要件でご利用いただいております。VMware基盤であることを活かし、オンプレミスからクラウドへの移行やプライベートとパブリックを組み合わせたハイブリッドクラウドの容易な実現を得意としております。また、データサイエンス・IoT領域のビジネス拡大にも取り組んでおり、パートナー企業やお客様企業とのコラボレーションを積極的に推進しております。今年度から、ITエンジニアの勉強会に当社セミナールームを無償提供する取り組みも開始いたしました。

JAIPAにおいても、クラウド部会をはじめとする会員の皆さまと交流させていただきながら、クラウドおよびインターネット業界の発展に寄与してまいりたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



NIFCLOUD
ニフクラ

FUJITSU

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

常時SSL時代到来!

ビジネスパートナー企業様募集中!

アルファSSLサーバ証明書はより多くの方に手軽に導入いただける様リーズナブルな価格でご提供しております

標準価格

🔍 アルファSSL

年6,000円

(税別)~

@ AlphaSSL

- 安心の国産CA
- 書類不要
- 最短2分の発行
- 期限内無償再発行

価格は決まってるの?

パートナー様で販売価格は自由に設定できます!

ノルマはあるんでしょ?

販売ノルマはありません!

面倒なのはちょっと...

専用管理画面で簡単・便利に証明書を一括管理できます!

アルファSSLは、WebTrust 基準を満たした中間認証局である事が証明されています。

お気軽にお問い合わせ下さい。partner@toritonssl.com

Toriton, Inc.

株式会社トリトン

〒247-0055 神奈川県鎌倉市小袋谷2-1-3 ヒルズ鎌倉1F

TEL:0467-55-5822

<https://www.toritonssl.com/>

※掲載されている会社名、商品名、サービス名は各社の商標又は登録商標です。

行事一覧

6月

- 5日(火) 第174回行政法律部会
- 6日(水) 第35回クラウド部会
- 13日(水) 2018年度臨時理事会開催のご案内
- 13日(水) 2018年度定時総会
- 14日(木) 第168回地域ISP部会
- 28日(木) 第126回女性部会

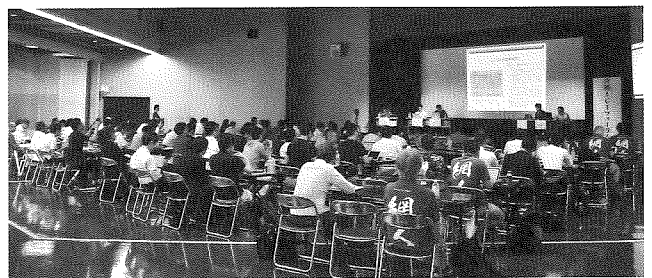


8月

- 1日(水) 第37回クラウド部会
- 7日(火) 第176回行政法律部会
- 21日(火) 第126回運営委員会
- 22日(水) 第170回地域ISP部会
- 24日(金) 第36回モバイル部会
- 29日(水) 第127回女性部会&女性部会主催勉強会
- 30日(木) 第129回インターネットユーザー部会

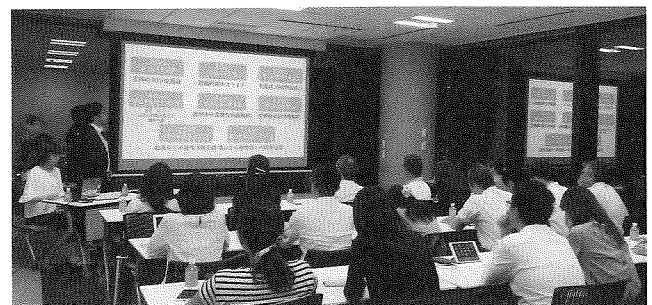
7月

- 2日(月) 第127回インターネットユーザー部会
- 5日(木)~6日(金) 沖縄ICTフォーラム2018 in 名護
- 10日(火) 第175回行政法律部会
- 10日(火) 第36回クラウド部会
- 17日(火) 第125回運営委員会
- 18日(水) 第169回地域ISP部会
- 25日(水) CloudConference2018
- 27日(金) 第35回モバイル部会
- 31日(火) 第128回インターネットユーザー部会



9月

- 5日(水) 第38回クラウド部会
- 12日(水) 女性部会勉強会働き方改革@さくらインターネット
- 13日(木) 第171回地域ISP部会
- 20日(木) 第127回運営委員会
- 25日(火) 第130回インターネットユーザー部会
- 27日(木) 第39回モバイル部会



役員一覧

名誉会長

渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

会長

会田 容弘 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

副会長

佐々倉 秀一 NTTコミュニケーションズ株式会社
 西山 裕之 GMOインターネット株式会社
 立石 聡明 有限会社マンダラネット

専務理事

立石 聡明 有限会社マンダラネット

常任理事

秋山 卓司 クロスモバイル株式会社
 萩原 正也 ニフティ株式会社
 小畑 至弘 BizMobile株式会社
 鎌倉 忍 ディーシーエヌ株式会社
 久保 真 ビッグロブ株式会社
 晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社
 竹綱 洋記 ソフトバンク株式会社
 田中 邦裕 さくらインターネット株式会社
 内藤 幹徳 KDDI株式会社
 永田 勝美 株式会社NTTぷらら

理事

家本 賢太郎 株式会社クララオンライン
 石田 卓也 株式会社イプリオ
 植田 裕之 株式会社ネットフォレスト
 高橋 美博 株式会社シナプス
 中野 雄一 株式会社エヌディエス
 野口 尚志 EditNet株式会社
 福智 道一 BBIX 株式会社
 横田 洋人 株式会社アットアイ
 渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

監事

新堀 龍明 株式会社サンライズシステムズ
 竹内 常夫 虹ネット株式会社

(2018年6月13日現在)

会員一覧

■正会員 [148団体]

株式会社アイエフネット	イツ・コミュニケーションズ株式会社	株式会社NTTぷらら
株式会社IMS	株式会社イプリオ	エヌ・ティ・ティ・メディアサブライ株式会社
株式会社アイキューブ・マーケティング	射水ケーブルネットワーク株式会社	株式会社エンボリック
株式会社IC-NET	株式会社インターネット尾張	オーシャンブロードバンド株式会社
株式会社IDCフロンティア	インターネット・フューチャー株式会社	株式会社大塚商会
AXLBIT株式会社	インターネットプロ東海株式会社	大槻電気通信株式会社
アクロニス・ジャパン株式会社	株式会社インターリンク	株式会社オキット
株式会社朝日ネット	株式会社STNet	カゴヤ・ジャパン株式会社
株式会社アットアイ	株式会社エディオン	関越ネットワークシステム株式会社
株式会社アット東京	EditNet株式会社	特定非営利活動法人きたうら花ねっと
アミック株式会社	株式会社エヌディエス	株式会社クオリティア
株式会社有明ねっとこむ	NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社クララオンライン
アルテリア・ネットワークス株式会社	エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社	株式会社グローバルネットコア
株式会社イーネット	株式会社NTTドコモ	クロスモバイル株式会社
イーブロードコミュニケーションズ株式会社	株式会社NTTPCコミュニケーションズ	株式会社クロノス
イエスネット株式会社	NTTビズリンク株式会社	株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ

会員一覧

株式会社ケー・アイ・ピー
株式会社ケーシーエス
KDDI株式会社
株式会社コアラ
株式会社高知システムズ
コスモメディア株式会社
彩ネット株式会社
さくらインターネット株式会社
株式会社さくらケーシーエス
サンコー事務機株式会社
株式会社サンメディア
株式会社サンライズシステムズ
株式会社シーエスファーム
GMOインターネット株式会社
GMOクラウド株式会社
ジェットインターネット株式会社
株式会社Geolocation Technology
株式会社シグマライン
株式会社シナプス
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
セイコーソリューションズ株式会社
株式会社ゼクシス
株式会社創風システム
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
ソピアフォンス株式会社
ソフトバンク株式会社
ZOROK株式会社
有限会社たけかわ企画
合同会社 double A one
ダンボネット・システムズ株式会社
中国聯通日本オペレーション株式会社
株式会社ディー・エヌ・エー
ディーシーエヌ株式会社
株式会社TCP
合同会社DMM.com
株式会社電算
103R株式会社
電通工業株式会社
株式会社TOKAIコミュニケーションズ
トナミ運輸株式会社
株式会社トリトン
有限会社ナインレイヤーズ
那賀町ケーブルテレビ
株式会社長野県協同電算
那須インフォネット株式会社
株式会社NAX

株式会社新潟通信サービス
株式会社西新宿ドットネット
虹ネット株式会社
ニフティ株式会社
日本・アルカディア・ネットワーク株式会社
日本情報システム株式会社
日本ネットワークイネイブラー株式会社
株式会社日本レジストリサービス
株式会社ニューメディア徳島
ネクストウェブ株式会社
株式会社ネクストジェン
株式会社ねこじゃらし
株式会社ネスク
株式会社ネットアイアールディー
株式会社ネットフォレスト
株式会社ハイネット
株式会社Hi-Bit
株式会社ハイホー
パラレルス株式会社
株式会社ハローコミュニケーションズ
BBIX株式会社
株式会社光システム設計
BizMobile株式会社
株式会社日立システムズ
ビッグローブ株式会社
株式会社ヒューメイア
株式会社ファミリーネット・ジャパン
株式会社フィックスポイント
株式会社フォーサイトウェーブ
富士通クラウドテクノロジーズ株式会社
株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート
株式会社フューチャースピリッツ
株式会社フューチャーネットワークス
フリービット株式会社
ブロックスシステムデザイン株式会社
有限会社プロベル
株式会社北斗システムジャパン
HOYAサービス株式会社
株式会社ホワイトサポート
株式会社マイメディア
松本商工会議所
有限会社マンダラネット
三井物産セキュアディレクション株式会社
ミテネインターネット株式会社
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク
株式会社武蔵野

メディアウェイブシステムズ株式会社
株式会社メディアブリッジ 東京支店
ライド株式会社
楽天コミュニケーションズ株式会社
リコージャパン株式会社
株式会社両毛インターネットデータセンター
Rebyc株式会社
ワークアップ株式会社

■賛助会員 [5団体]

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
サイバーソリューションズ株式会社
特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会
日本ネットワークセキュリティ協会
一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

(団体名五十音順) 2018年9月30日現在

『横浜ベイスターズ』

皆様、こんにちは。菊池と申します。
暫くJAIPAを離れていましたが、6月に個人での入会を認めていただき、新たな気持ちで活動させていただければと思っています。

8月9日に珍しく事務局の平さんからメールが届きました。
JAIPAで私と同じような経歴を持つ『髭のおじさん』と私宛だったので、『飲みのお誘いか』と勇んでメールを見たところ、残念なことこの原稿の依頼でした。
最初の正直な感想は『めんどくせ〜』だったのですが、『事務局の女性お二人のご指示は絶対』と言うJAIPAの掟を思い出し、お受けいたしました。



内容は何でも良いとのご指示ですが、そう言われるとかえって難しく、おまけに1年以上遊び呆けていたのでお題が全然浮かびません。まだ時間もあると真面目に考えず時間が過ぎていき8月21日になりました。

この日、私は上記『髭のおじさん』他2名と横浜ベイスターズの応援に行くことにしていました。

私は野球ファンでプロ野球チームでは横浜ベイスターズを応援しています。

球場に入る前、4人で飲んでいる時に髭面を見ながらふと思いつきました。

『ああ、横浜ベイスターズの事でも書いて勘弁してもらおう』と。

余談ですが、同日は第100回全国高校野球選手権記念大会の決勝でした。

試合展開如何では16:30の待合せに遅れてもやむなしの覚悟で大阪桐蔭vs金足農業の試合をTV観戦していました。

ご多分に漏れず(？、大阪方面の方、ごめんなさい。)、横浜高校に大逆転勝ちしてから近江・日大三戦と奇跡の様に勝ち上がった金足農業に肩入れしていました。

金足農業は近頃の甲子園では珍しい公立高校で、県予選から甲子園の準決勝まで秋田県出身の同じ3年生9人で戦い、その中の吉田選手がずっと1人で投げ抜いてきたことで話題になっていました。

決勝戦の結果は、大阪桐蔭がその実力を発揮し勝利を収め、金足農業は9名で戦い抜いたのですが吉田投手は遂にリリーフをあおがなければならなくなりました。

9月3日から開催されるU18野球アジア選手権の代表は、金足農業からは1名で、複数名が選ばれた高校はたった3校です。浦和学院・常葉大菊川から2名で、それに対し大阪桐蔭からは5名が選出されています。

やはりメンバーの実力差は如何ともしがたいのでしょうか。

私は今夏の金足農業の活躍が、『甲子園なんて夢』と思っている大多数の球児への目標となればな〜と願っています。

余談が少し長くなりました。横浜ベイスターズに話を戻します。

私は高校卒業まで岡山・京都・大阪・静岡で過ごしました。

また、高校卒業までずっと運動部に入っていたのですが、野球部に所属したことはありません。

そんな私が何故『横浜ベイスターズ』なのでしょう。

きっかけを一言で言ってしまうと父の影響です。

父は西宮市出身で、ずっと野球部に所属していました。当然、プロ野球観戦が趣味で、最頃はパシフィック・リーグの阪急ブレーブスとセントラル・リーグの松竹ロビンスでした。

私は父に連れられ、西京極球場・西宮球場・甲子園球場等で両チーム(とその後継チーム)の試合をよく見ていました。

《ここまでで、『きっかけ』の意味が分かった方は、かなりの野球好きで、私と同世代以上の高齢である事を認定します。賞品はありませんし、何の自慢にもなりません。》

阪急ブレーブスは、1988年に球団が譲渡されオリックス・ブレーブスとなり、その後名称をオリックス・ブルーウェーブと変更しました。

2004年に近鉄バッファローズと合併し現在のオリックス・バッファローズとなりました。

因みに、この時のドタバタの中、楽天のオーナーが動き、近鉄バッファローズのほぼ半数の選手を受け入れて東北楽天ゴールデンイーグルスが設立されています。

松竹ロビンスは1953年に大洋ホエールズと合併し大洋松竹ロビンスとなり、翌年に松竹の撤退により大洋ホエールズとなりました。

1955年に川崎、1978年に横浜へと本拠地を移転し、横浜大洋ホエールズとなりました。

1993年、市民球団を目指すとして球団名を横浜ベイスターズに変更しましたが、球団の経営権がDeNAへと移り横浜DeNAベイスターズとなっています。

球団も会社組織で、日本では財務的には厳しい状況が多く、親会社やプロ野球組織の思惑でかなりの球団が波乱万丈の歴史を持っています。

球団を安定的に運営するには、財務を安定させ親会社から独立する事とチーム力の強化(勝てるチーム)が必要なんですね。

2球団に親しんできた私がベイスターズにのめり込んだ理由は単純で、東京、その後横浜に住むようになったからです。

特に、1980年代後半に横浜のあるグループで、多くの元高校球児(甲子園経験者含む)やベイスターズファンと知合った事が大きかったと思います。

ベイスターズは1998年にリーグ制覇並びに日本一となりました。

横浜ベイスターズがリーグ制覇・日本一になったことは、1960年とこの年の2度しかありません。

この年、私は8月中旬以降の横浜スタジアムでの全試合に行きました。

この全試合には、日本シリーズのホームゲーム3試合も含まれます。(横浜スタジアムで3試合、西武ドームで3試合行われ、4勝2敗で勝利！)

日本一になった瞬間も横浜スタジアム内で感動していました。

まだまだソネット立ち上げといってもいい時期で非常に忙しかったはずですが、人間やればできるものです！

因みに、この年は横浜高校が甲子園で春夏連覇を達成し、当に野球漬けの1年を過ごしました。

今シーズンの横浜ベイスターズは、シーズン前の優勝もあるかもという下馬評を見事覆し、最下位争いに沈んでいます。

期待された選手の故障や不調等、いろいろ原因を言う方がいらっしやいますが、私は優勝はともかく上位争いができる戦力はそろっていたのではと思っています。

今シーズンを見て思うことは、長期の視点で戦力を生かす指揮官の重要性和責任の大きさです。

今シーズンの状況を真摯に受け止め、来シーズン以降に向けてしっかり対応してくれたらな〜と強く思う今日この頃です。

近頃、東北ゴールデンイーグルスのGMに就任した石井一久氏でも『無理して1シーズンだけ勝っても意味はない。毎年優勝争いできるチームをつくりたい』と仰っています。



以上で、私の話は終わりとさせていただきます。

埒も無いことを取り留めもなく記し申し訳なく思いますが、私にはこんな一面もあるとご理解いただき、これからもお付き合い頂ければ幸いです。

名誉会員 菊池 正郎

50過ぎると足からくる、というが、今、まさに足！足！膝！右ひざがとてつ痛いの！
ことはランチの帰り道、多少のバラつきはあったものの、傘をさすほどではなく、
が、しかし、のんびりと歩くには両足が気になるのでね、そういう時は早足になっ
たりするものです。

てくてく、てくてく、てくてくてくてく…

そーいえば、その時Tさんは鳥ぞうりを履いていたので、

べたべた、べたべたべた、べたべたべたべた…

こんな感じでしょーか。

それなりに地面も濡れていましてね、べたべた、前を向いて元気よく歩いていま

してね、べたべたべた、

と、その時！

ズルっ！と！　そう、まさに、ズルっ！と！

なんといいますが、大理石のような縁石にて、幅10cぐらいのでしょーか、雨で
濡れたその縁石にて、右足がズルっと前に滑り、あ！尻もちつく！と、とっさに
判断したTさんの左足がそれを阻止せんとばかりに踏ん張ったつもりが、後ろに
ズズズと！

尻もち、どころか、このまま両足が反対方向にズズズと滑っていきますと、
180度開脚となるわけなんです、Tさんは極端に体が硬い。開脚なんて開くわ
けもないのです。でも、足の滑りは止まらないわけで、あーと雄叫びをあげな
がら、どうするどうする？地面は濡れてスカートが汚れると走馬灯のように考え
た結果、もーいいや、と地面に尻つけていたわけで。雨に濡れた地面に、どべちゃ！
と…

「股がー！股がー！骨折れたー！」と雄叫びあげるTさんに、「股は骨折れん！」
と冷たい専務理事のTさん。その後、何事？な慈愛に満ちた眼差しで見守って
くれたMさんに助け起こされ、午後は膝が痛い痛いとい喚きながらも何とか家にたど
りつき、翌日、見事に歩けずに休みました。結構、恐らく重症でした。でも、お
医者には行ってないけどね。

それは編集後記を書いている1週間前のこと、これが皆様のお手元に届くころに
は痛みがなくなっているといいなあ (T)

JAIPA Express Vol.49

2018年10月5日 初版第1刷発行

発行所

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F

TEL:03-5304-7511 FAX:03-3379-5530

URL: <http://www.jaipa.or.jp/> E-mail: info@jaipa.or.jp

印刷

フジサービス株式会社

〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。

■本書掲載記事の無断掲載・放送は堅くお断りいたします。

■乱丁、落丁本がございましたらお取り替えいたします。

© 2018 Japan Internet Providers Association